

# 生物基礎

## 共通テスト初年度について

### 傾向

- 難易度は2018年度試行調査よりもやや低く、2020年度センター試験よりもやや高くなりました。
- 2018年度試行調査と比べると、考察問題の比率は増加しましたが、設問数は同等で、負担感はほとんど変わりません。
- 第1問文Aではリード文に会話が取り入れられていたほか、体内からのウイルス排除や地球温暖化などの身近な話題について考える問題も出題されました。

### 出題内容

大問	出題内容	難易度		
		やや易	標準	やや難
1	細胞の構造、ATPの合成／遺伝子の転写と翻訳		●	
2	体内の水分調節／免疫担当細胞、抗原抗体反応		●	
3	世界のバイオーム／生態系のバランス		●	

## パワーマックスについて

### 編集方針

- 2021年度本試験に合わせた形式の模試を5本掲載
- 最新の本試験や試行調査の形式を考慮した、Z会オリジナル問題

### 書籍の特長

- 2021年度本試験でもみられた、「『どのように学ぶか』を踏まえた問題の場面設定」や「身近な課題等について科学的に探究する問題」を出題しています。
- すべての回に**実験考察問題**や**計算問題**を掲載。共通テストで高得点を狙うための対策ができます。

大問	出題内容	解答目安時間	難易度		
			やや易	標準	やや難
第1回	1 代謝、ウイルス／細胞分裂	10分	●		
	2 高地で生活する動物の酸素循環／糖尿病	10分		●	
	3 夏緑樹林の構造／物質やエネルギーの移動	10分		●	

大問	出題内容	解答目安時間	難易度		
			やや易	標準	やや難
第2回	1 細胞の構造／核のはたらきと遺伝情報の発現	10分		●	
	2 腎臓の構造と尿生成／血液の成分	10分		●	
	3 生態系／生態系における有機物の収支	10分		●	

第3回	1 酵素／酵素を用いた実験	10分		●	
	2 体液と免疫にはたらく細胞／血液による酸素の運搬	10分			●
	3 植生の遷移／気候とバイオーム	10分			●

第4回	1 光合成／細胞周期	10分			●
	2 ホルモンとその作用／血糖値(血糖濃度)の感知と調節	10分		●	
	3 窒素と炭素の循環／有機物の移動	10分		●	

第5回	1 光合成／DNAとRNAの構造	10分		●	
	2 腎臓と肝臓／尿生成	10分		●	
	3 バイオーム／水界生態系	10分			●